

リサーチャーシステム 導入マニュアル（Windows版）

AI搭載 仕入れリサーチ自動化ツール
Amazon 楽天市場 ヤフショ 中国1688 対応

このマニュアルについて

本マニュアルは Windows 環境でリサーチャーシステムを導入するための手順書です。
プログラムの知識は不要です。手順どおりに進めるだけでセットアップが完了します。

対応OS	Windows 10 / 11
所要時間	約15～30分（初回のみ）
必要なもの	Claude Code、Googleアカウント、Google Chrome、インターネット接続

補足 操作はすべて「PowerShell」で行います。Windowsキー + 「powershell」と入力 + Enter で起動できます。

STEP 1 前提ツールのインストール

まず以下の4つをインストールしてください。

1-1 Node.js

Claude Code のインストールに必要です。

<https://nodejs.org/> にアクセスし、「LTS（推奨版）」をダウンロードしてインストール。

インストール後、PowerShell を開いて確認：

```
node -v
```

「v20.x.x」のようにバージョンが表示できれば OK。

1-2 Claude Code

リサーチャーの本体です。PowerShell で実行：

```
npm install -g @anthropic-ai/claude-code
```

初回起動時に Anthropic アカウントへのログインが求められます。画面の案内に従ってください。

1-3 Python 3

<https://www.python.org/> から最新版をダウンロードしてインストール。

注意 インストール画面の一番下に「Add Python to PATH」というチェックボックスがあります。必ずチェックを入れてからインストールしてください。入れ忘れると後の手順でエラーになります。

インストール後、PowerShell で確認：

```
python --version
```

「Python 3.x.x」と表示されれば OK。

1-4 必要パッケージのインストール

PowerShell で実行：

```
pip install gspread google-auth playwright  
playwright install chromium
```

注意 「pip は認識されない」と表示された場合は「pip3」に変えて試してください。例：pip3 install gspread google-auth playwright

1-5 playwright-cli (Amazonリサーチャー専用)

Amazon キーワードの自動取得に使います。PowerShell で実行：

```
npm install -g @playwright/cli
```

STEP 2 フォルダを配置する

受け取った「リサーチャーシステム」フォルダを、パソコンに置いてください。

推奨の置き場所	C:\リサーチャーシステム
---------	---------------

注意 日本語や空白（スペース）を含むフォルダパスはエラーになる場合があります。
「C:\リサーチャーシステム」など、Cドライブ直下に置くのが最も安全です。

STEP 3 Google 認証の設定

リサーチ結果を Google スプレッドシートに自動保存するための設定です。

注意 [重要]無料トライアルへの登録は不要です Google Cloud Console にアクセスすると「無料トライアルを開始」という画面が表示される場合があります。クレジットカードの登録は必要ありません。画面下部の「スキップ」または「後で」を選択し、そのまま通常のアカウントで続行してください。サービスアカウントの作成・JSON キーの取得は完全無料で行えます。

3-1 google_credentials.json の取得

- ① <https://console.cloud.google.com/> にアクセスし、Google アカウントでログイン
- ② 左上「プロジェクトを選択」>> 「新しいプロジェクト」>> 名前を入力して作成
- ③ 左メニュー「API とサービス」>> 「ライブラリ」>> 「Google Sheets API」を検索して有効化
- ④ 同様に「Google Drive API」も有効化
- ⑤ 「API とサービス」>> 「認証情報」>> 「認証情報を作成」>> 「サービスアカウント」
- ⑥ サービスアカウント名を入力（何でも OK）>> 作成して続行 >> 完了
- ⑦ 作成したサービスアカウントをクリック >> 「キー」タブ >> 「鍵を追加」>> 「JSON」でダウンロード
- ⑧ ダウンロードした JSON を「google_credentials.json」にリネームして、
リサーチャーシステム\scripts\ フォルダに入れる
例：C:\リサーチャーシステム\scripts\google_credentials.json

3-2 スプレッドシートの準備

- ① Google スプレッドシートを新規作成（名前は何でも OK。例：「リサーチ結果」）

- ② URL の「/d/」と「/edit」の間の文字列をコピー（これがスプレッドシート ID）
例）<https://docs.google.com/spreadsheets/d/このID/edit>
-

- ③ スプレッドシートの「共有」からサービスアカウントのメールアドレスを追加
メールアドレスは google_credentials.json
の「client_email」欄に記載。権限は「編集者」に設定
-

STEP 4 楽天ウェブサービス API の設定

楽天リサーチャーを使う場合に必要な設定です。楽天以外のリサーチャーしか使わない場合はスキップしてください。

4-1 アプリ ID の取得

- ① <https://webservice.rakuten.co.jp/> にアクセスし、楽天アカウントでログイン
- ② 「アプリ ID 発行」>> アプリ名（何でも OK）・アプリ URL（自分のショップURLなど）を入力して登録
- ③ 発行された「アプリ ID」をコピーしておく（後で使います）

4-2 環境変数に設定する

- ① Windowsキーを押して「環境変数」と入力 >> 「システム環境変数の編集」をクリック
- ② 「環境変数」ボタンをクリック >> 「ユーザー環境変数」の「新規」をクリック
- ③ 変数名：RAKUTEN_APP_ID 変数値：取得したアプリ ID を入力して OK
- ④ PowerShell を再起動する

完了 設定後、PowerShell で以下を実行して確認してください。 echo %RAKUTEN_APP_ID% アプリ ID が表示されれば設定完了です。

STEP 5 セットアップの実行

セットアップを実行すると、すべての設定が自動で完了します。

「リサーチャーシステム」フォルダを開き、「setup.bat」をダブルクリック。

注意 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されたら「はい」をクリック。
黒い画面（コマンドプロンプト）が開いて質問が表示されます。

セットアップ中に入力する項目：

入力項目	入力例	説明
取り扱いジャンル	食器・キッチン用品	あなたのショップのカテゴリ
価格帯	1,000～5,000 円帯	主な販売価格帯
主な客層	30～50 代女性	ターゲット顧客

スプレッドシート ID	1AbCdEf... (長い文字列)	STEP 3 でコピーした ID
認証ファイルパス	(Enter でデフォルト)	通常はそのまま Enter でOK

STEP 6 Amazonリサーチャー用 Chrome の起動

Amazonリサーチャーはあなたのアカウントでログインした Chrome を使ってリサーチを行います。
初回だけ、以下の手順で Chrome をセットアップしてください。

5-1 start-chrome.ps1 を実行する

PowerShell を開いて以下を実行：

```
cd C:\リサーチャーシステム\scripts\Amazon  
PowerShell -ExecutionPolicy Bypass -File start-chrome.ps1
```

補足 「実行ポリシーについて...」という確認が表示された場合は「Y」を入力して Enter を押してください。

5-2 Amazon にログインする

スクリプトを実行すると Chrome が自動で開きます。Amazon
のログイン画面が表示された場合は、あなたのアカウントでログインしてください。

注意 ログイン後、PowerShell に「Amazonログイン済みを確認しました」と表示されれば成功です。
次回からは自動でログイン状態が維持されます。

5-3 2回目以降の起動

2回目以降は start-chrome.ps1 を実行するだけで自動的に接続されます。
Amazonリサーチャーを使う前に毎回実行してください。

STEP 7 動作確認

6-1 Claude Code を起動する

PowerShell で：

```
claude
```

初回は Anthropic アカウントへのログインが必要です。画面の案内に従ってブラウザでログインしてください。

6-2 リサーチャーを呼び出す

Claude Code のプロンプトに以下を入力してください：

```
/Amazonリサーチャー
```

「Amazonリサーチャー（自社ショッップ向け商品発掘専門家）」と表示されればインストール成功です。

各リサーチャーの使い方

/Amazonリサーチャー

Amazon市場で勝てる商品を発掘します。キーワード候補を自動取得し、10視点で徹底分析。GO/NG判定まで自動で行い、結果をスプレッドシートに保存します。

/楽天リサーチャー

楽天市場向けの商品リサーチを行います。楽天ウェブサービスAPIを使い、楽天特有の視点（SPU・ポイント戦略など）を加えて分析します。

/ヤフショリサーチャー

Yahoo!ショッピング向けの商品リサーチです。ヤフショ特有の広告・PayPay戦略を踏まえた分析を行います。

/中国リサーチャー

AmazonリサーチャーのGO判定商品を受け取り、1688（アリババ系）での仕入れキーワードと差別化戦略を中国語で生成します。

トラブルシューティング

Q 「認証ファイルが見つかりません」エラー

A google_credentials.json が scripts\ フォルダに入っているか確認してください。
ファイル名のスペルも確認（「credentials」のスペルに注意）。

Q 「スプレッドシートが見つかりません」エラー

A スプレッドシート ID が正しいか、またサービスアカウントのメールアドレスを
「編集者」として共有しているか確認してください。

Q スキルが動かない（/Amazonリサーチャーが出てこない）

A setup.bat が正常に完了したか確認してください。
C:\Users\ユーザー名\claude\commands\ にファイルがあるか確認。
なければ setup.bat をもう一度実行してください。

Q 「playwright-cliが見つかりません」エラー

A npm install -g @playwright/cli を実行してください。
インストール後に PowerShell を再起動して再試行。

Q Chrome が起動しない（start-chrome.ps1）

A Google Chrome がインストールされているか確認してください。
インストール場所：C:\Program Files\Google\Chrome\Application\chrome.exe
Chrome が見つからない場合は <https://www.google.com/chrome/> からインストール。

Q 「スクリプトの実行が無効になっています」エラー

A PowerShell を管理者として開き、以下を実行してください：
Set-ExecutionPolicy -Scope CurrentUser RemoteSigned
「Y」を入力して Enter を押した後、再度 start-chrome.ps1 を実行。

Q 「pip は認識されない」エラー

A Python のインストール時に「Add Python to PATH」にチェックが入っていない可能性があります。
Python を一度アンインストールし、再インストール時に必ずチェックを入れてください。

Q 文字化けが発生する

A PowerShell で以下を実行してから再試行してください：
chcp 65001

フォルダ構成（参考）

```
C:\リサーチャーシステム\  
+-- setup.bat ... Windows用セットアップ（ダブルクリックで実行）  
+-- scripts\  
| +-- config.json ... setup.bat実行後に自動生成される  
| +-- google_credentials.json ... あなたが置くファイル  
| +-- save_product_stock.py  
| +-- Amazon\  
| | +-- amazon_research_scraper.py  
| | +-- start-chrome.ps1 ... Windows用Chrome起動スクリプト  
| | +-- リサーチCSV\ ... リサーチ結果CSV保存場所  
| +-- リサーチ\  
| +-- Amazonリスト\ ... Amazonリサーチ結果  
| +-- 楽天リスト\ ... 楽天リサーチ結果  
| +-- ヤフショリスト\ ... ヤフショリサーチ結果  
+-- skill_templates\ ... スキルテンプレート（編集不要）
```

補足 設定を変更したい場合は setup.bat を再実行してください。 scripts\config.json を直接編集することも可能です。